

橋梁上部構造の点検及び調査

既設橋梁における上部構造の点検および調査

1) 既設橋梁の状況

既設の橋梁は、以下のような原因により加齢と共に次第に劣化してくることは避けられません。特に、供用年数が20～30年も経った橋梁については、十分に調査して将来をにらんだ補修・補強の対策を実施しておく事が維持管理費の縮減、および落橋等の事故防止につながるものと言えます。

<劣化原因について>

- ・交通量の増加、車両の大型化による交通荷重の増加
- ・厳しい気象および環境条件
- ・災害および事故等

2) 上部構造の点検および調査概要

- ・変状調査：形状調査、外観変状調査
- ・耐力調査：中性深さの調査、コンクリート圧縮強度調査、応力歪測定、無処置の場合の残存耐用年数の推定、補修補強をした場合の耐用年数推定等

3) 補強・補修の技術提案

調査した結果については、データベース化を行い、今回健全であると判断された橋梁についてもいざという時の為にいつでも情報を取り出せるように当社でデータを預かることも可能です。

4) 事例

当社にて実施した「主桁の応力歪測定」(左側)と「橋台部のコンクリート圧縮強度調査(シュミットハンマー試験)」(右側)の事例を以下に示します。



総合建設コンサルタント



中央開発株式会社

URL: <http://www.ckcnet.co.jp/>

【技術サポート】

関東支社 道路設計部 担当：金矢・粕谷・大館・寺崎
埼玉県川口市西青木3-4-2

TEL 048(259)6311 FAX 048(259)6315